

62th Annual Meeting of American College of Sports Medicine における研究発表

居石 真理絵*

はじめに

2015年5月26日～30日に、アメリカ合衆国カリフォルニア州サンディエゴにて、62th Annual Meeting of American College of Sports Medicine（第62回アメリカスポーツ医学会大会：以下、ACSM）が開催された。ACSMは、sports medicine および exercise science に関する世界最大の学会であり、年に1度 Annual Meeting を開催している。その大会において、我々の研究成果の一部を発表する機会を頂いたので、ここに研究発表の概要について報告する。

ACSM では、数多くのシンポジウムや発表が行われた。様々な国から多くの研究者が参加しており、プレゼンテーションに耳を傾け、フロアでは熱心なディスカッションが行われていた。私は高所、低酸素トレーニングを中心に、トレーニングやパフォーマンスに関連するテーマのセッションに参加し情報収集に努めた。高所関係では、シンポジウムにおいてアメリカでの実践データが報告されており、とても興味深い内容であったが、また、一般発表での低酸素関係の演題の内容が、パフォーマンスに関連するものが少なく、認知機能などに関する発表数が増えていたことが印象的であった。

研究発表について

私は今回、「7-day Simulated Intermittent Hypoxic Training Improves Maximal Aerobic Capacity In 400m Or 800m Runners」というテーマでポスター発表をした。私が研究テーマとしている短期間（1週間以内）の低酸素トレーニングに関する研

究の一つである。今回は、一般的なポスター発表ではなく、Thematic Poster というセッションで、ポスターの前でプレゼンテーションを行いフロアからの質問を受ける形式での発表であった。英語でのプレゼンテーションは緊張し、自分の話す内容が伝わるか不安もあったものの、会場の多くの方から質問をいただきディスカッションを行うことができた。ディスカッションの中で、今後の研究のヒントなる情報をたくさん得ることができたと感じた。

終わりに

ACSM での発表は昨年に引き続き2回目であったが、今回は発表の形式が違ったことで、新たな経験をすることができた。国際学会での発表を通じて、多くの研究者と意見交換することができ、大変有意義な時間であったと感じている。また、現在の研究のトレンドを知ることもできるため、今後も積極的に国際学会での発表を行いたいと改めて感じた。

最後になりましたが、本学会への参加に際して、ご理解とご支援いただき、貴重な経験をさせていただいたことに対して感謝いたします。ありがとうございました。

* 鹿屋体育大学 大学院体育学研究科 博士後期課程3年